

## 平成28年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 定14

学校名 千葉県立長生高等学校

課程名 定時制の課程

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校経営	<p>1 生徒理解を基盤とした生徒指導体制を確立する。</p> <p>2 家庭や地域から信頼される、開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>3 安全教育, 健康教育の充実を図り, 安全・安心な学校環境づくりに努める。</p>	<p>① 生徒に関する情報交換会を毎月実施し, 生徒指導の充実を図る。</p> <p>② 定時制の課程の教育活動の理解・浸透を図るために, 授業公開週間の参加者の増加と学校説明会を随時行う。 夏季休業中の中学校訪問を実施する。</p> <p>③ <b>ホームページ内容を毎週定期的</b>に更新し, <b>最新情報を提供する。</b> <b>携帯からの閲覧について検討する。</b> また, 保護者にアンケートを実施する。(11月)</p> <p>④ 交通安全や自然災害時の安全教育に重点をおき, 研修会や講話・実践的避難訓練訓練を実施する。</p>	<p>① 情報交換会10回以上の実施, 昨年度(85.5%)以上, 退学率10%以下を目指す。</p> <p>② 中間調査後の中学校訪問を新入生の学校すべてに実施する。授業公開週間の参加者状況。 中学校訪問の校数。</p> <p>③ <b>ホームページの掲載内容と更新状況の確認。更新回数</b>は<b>20回を目安とする)</b> 保護者アンケートの結果。</p> <p>④ 研修会や講話・訓練の実施状況(年3回以上)。</p>
学習活動	<p>1 生徒の学力, 能力に応じた学習指導の充実を図り, 学習意欲の向上と基礎学力の確実な定着に努める。</p> <p>2 特別活動の充実と各種検定試験を奨励し, 実際に社会で役立つ知識・技術を身につけさせる。</p>	<p>① <b>学校評価アンケート中の授業評価部分を分析し, 授業改善に努める。</b>(11月)</p> <p>② 授業公開を実施し, 保護者による授業参観・授業評価アンケートを実施する。(11月)</p> <p>③ <b>授業公開時に職員間の授業参観を実施し, 意見交換を行う。</b></p> <p>④ 商業科目における, 各種検定に取り組む中で, 合格率の向上を目指す。</p>	<p>① <b>生徒による学校評価アンケートの結果。</b></p> <p>② 保護者アンケートの実施による, 授業内容満足度調査。</p> <p>③ <b>職員間の授業参観における意見交換の結果。</b></p> <p>④ 情報処理・簿記検定・ワープロ検定合格の結果。</p>
生徒指導	<p>1 基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成を図る。</p> <p>2 校内の教育相談活動の充実を図る。</p>	<p>① 登下校指導を通して, 挨拶の励行, 遅刻指導を実施し, 基本的な生活習慣の確立に努める。</p> <p>② <b>面談週間の実施による生徒理解に努める。</b>(6月)</p> <p>③ スクールカウンセラーによる, 1年生全員個人面談の実施等により, 教育相談体制の充実を図る。</p>	<p>① 登下校指導については, 通年を通して実施し, 遅刻者の前年比10%減を目指す。</p> <p>② <b>面談週間の実施状況とその結果による活用状況。</b></p> <p>③ スクールカウンセラー利用状況の確認。</p>
キャリア教育	<p>1 望ましい職業観・勤労観の育成を目指した進路指導の充実を図る。</p> <p>2 外部機関との連携と就労意欲の向上を図る。</p>	<p>① <b>外部機関との連携を図りつつ, 総合的な学習の時間や学校行事・教科活動等を通じて, 進路講演会や職業体験学習を行う。</b></p> <p>② 種々の外部機関との連携によるアルバイトや就労体験を実施し, 学校幹旋による希望者を増加させ, 内定率を向上する。</p>	<p>① <b>総合的な学習の時間における職業観の充実(年10回)。</b></p> <p>② <b>進路説明会等の実施回数とその状況(年2回)。</b></p> <p>③ 就労体験の実施状況・学校幹旋希望者数及び学校幹旋による内定率。</p>
特別支援教育	<p>1 発達段階に即した生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた, 適切な指導・支援を行う。</p>	<p>① 生徒一人ひとりのニーズを的確に把握し, 日常的に支援を行う。</p> <p>② 外部団体と連携し, 希望者に特別補習を行う。</p> <p>③ 特別支援教育連絡会議を学期1回開催し, 生徒支援の充実を図る。</p>	<p>① 学期毎に生徒の状況を確認し, ニーズの分類, 対応の検討, 支援の内容について情報を共有する。</p> <p>② 外部団体を活用した特別補習を実施する。</p> <p>③ 特別支援教育連絡会議の教員の満足度。</p>